

高等学校工業科担当教員実技講習会

工業部会事務局

1 はじめに

平成 28 年度技能オリンピック全国大会山形県開催が決定した。工業高校の生徒が技能検定に挑戦することにが全国大会出場選手の発掘から育成につながる。本部会の実技講習会では、工業科担当教員の指導力向上と、実習・課題研究等のテーマ及び内容の幅を広げ、工業教育の充実に役立てることを目的としおこなった。平成 24 年度は「建築大工技術」（初）、「電子機器組立て技術」（2 回目）を実施した。

2 実施要項

（1）建築大工技術(技能検定 2,3 級程度)

主 催 山形県高等学校教育研究会工業部会
後 援 山形県教育委員会
期 日 平成 24 年 12 月 22 日(土)～23 日(日)
会 場 長井高等職業訓練校
講 師 井上 正市 氏 (丸ト建設 (株))

（2）電子機器組立て技術(技能検定 2,3 級程度)

主 催 山形県高等学校教育研究会工業部会
後 援 山形県教育委員会
期 日 平成 24 年 1 月 26 日(土)～27 日(日)
会 場 山形県産業技術短期大学校
講 師 堀 吉夫 氏 (パナソニック (株))
阿部 栄治 氏 (パナソニック (株))

3 講習内容

（1）建築大工技術

今年度、初めて建築大工技術を実施した。参加者は 6 名で高度な技術を身につけるべく意欲的に取り組んだ。

講習の内容は①木材の性質②展開図の作成③道具の使い方④墨付け⑤部材の切断⑥仕口の加工（ほぞ・ほぞ穴）⑦組立て・検査⑧評価・反省・まとめであった。講師の井上正市氏からは、正しい道具の使い方や高度な技能について、丁寧に教えて頂いた。さらに、井上氏の技能オリンピック世界大会メダル獲得までの道程や生徒へ望む技術者としての気概を教えて頂



いた。また、長井工業高校の白石栄治先生より「技能指導の実際と課題」として事例発表頂き全員で研究協議をおこない理解を深めた。

（2）電子機器組立て技術

昨年に引き続き 2 回目となる電子機器組立て技術を実施した。昨年からの進展させるために 2 級程度に重みをおいた。2 級程度 9 名、3 級程度 5 名の参加者が意欲的に取り組んだ。講習内容は①部品の確認

②束線引き回し③プリント番組立て P B 1④プリント番組立て P B 2⑤シャーシの組立て・束線の接続⑥検査⑦評価、反省、まとめであった。正しい知識と技能をあらためて学び学校現場でも活用できる内容であった。講師の堀吉夫氏から技能検定の合格率が向上するためには、教員が正しい技能を指導できること、生徒自ら意欲を持つことが必要であると教示頂いた。



4 おわりに

県教育庁高校教育課高橋良治指導主事をはじめ、山形県立産業技術短期大学校、山形県職業能力開発協会、講師、会場や設備、部品を提供していただいた方々など、多くの皆様に御協力頂いた。講習後の参加者の充実した表情やアンケート結果から有意義な講習会にすることができた。この成果を各学校の授業や資格習得の活かして本県の工業教育の尚一層の充実につなげていきたい。この講習会に尽力頂いた関係各位に深く感謝申し上げる。